

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

令和6年5月16日

発行：岩手県水産技術センター

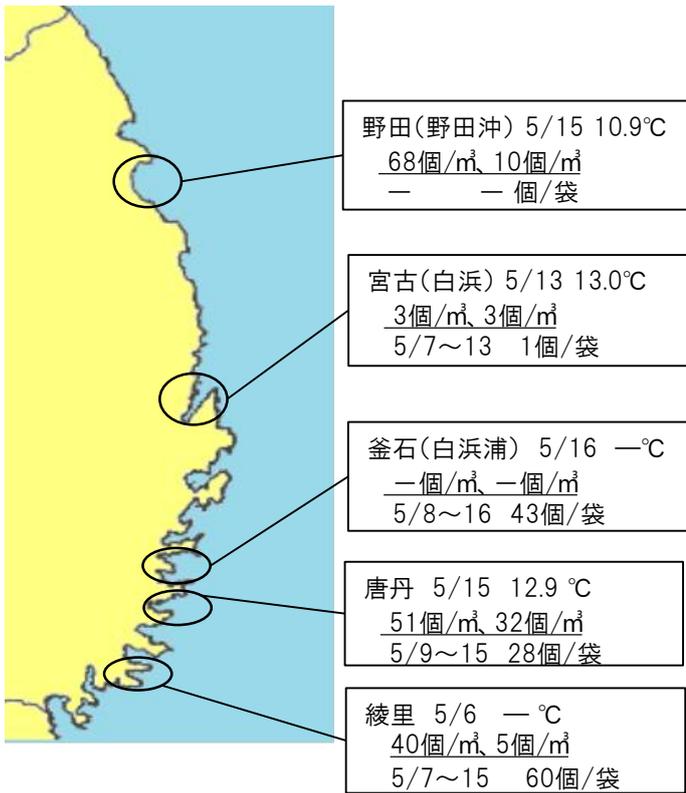
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイの付着稚貝の出現数が増えています。採苗器の分散投入を続けてください。

< 調査結果の概要 >

- 5月15日の唐丹湾の10m深水温は12.9℃、透明度は8mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが51個/m³（昨年同時期：159個/m³）、200μm以上の大型のラーバが32個/m³（同：12個/m³）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキイガイが35個/m³、キヌマトイガイが47個/m³、エゾシカゲガイが13個/m³、その他が7個/m³でした。
- 少量ですが、複数の湾でホタテガイの付着稚貝が確認されています。
- 少量ですが、ホタテガイの付着稚貝が増えていますので、採苗器の分散投入を続けてください。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月23日頃に
発行する予定です。

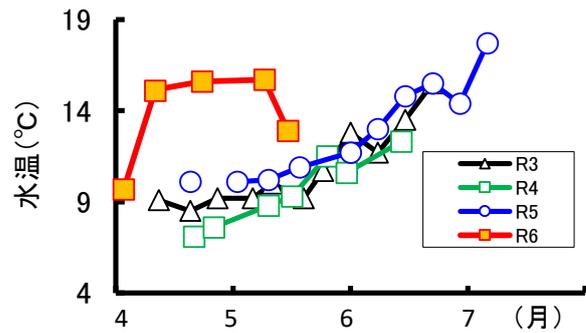


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

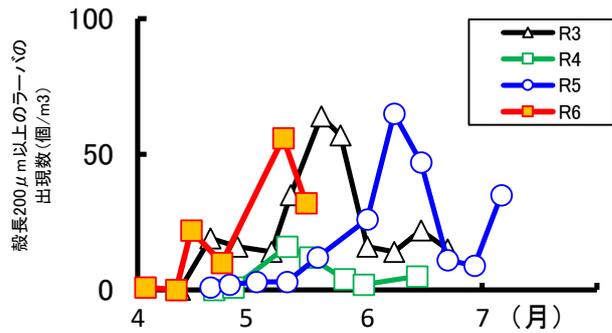


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

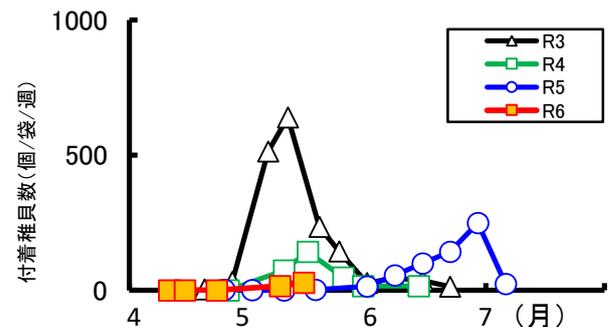


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数